



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html

「生活保護の改悪なんて許せないわ！」



生きる保障を奪うな！

安倍政権は生活保護の基準引き下げなど社会保障の改悪に踏み込もうとしています。自民党が総選挙公約で生活保護費の10%カットを公約しましたが、「慎重」と言っていた公明党も、民主党も自民党に同調し、生活保護の改悪を認めようとしています。

そもそも生活保護の受給者が急増している背景には、国民の貧困の広がりがあり、貧困問題という日本の構造を解決しない限り、根本的な解決はありません。では、貧困が広

がる原因はどこにあるのでしょうか。最大の理由は雇用の破壊、収入の低下にあることは明らかです。政府自身も認めているように国民の16%、2千万人以上が貧困状態にあると認めています。雇用が破壊され、高齢者の年金も減り、収入が減り続けて国民生活全体が苦しくなっているから、生活保護が増えざるを得ないのです。

給料が下がっているのだから低所得者と比べて、生活保護基準の方が高くなることは不思議ではありません。それを生活保護利用者が「得」しているかのように描いて、生活保護基準を引き下げを正当化しようとしているのです。おかしいと思いませんか。生活保護基準の引き下げは利用者だけの問題ではありません。最低賃金にも影響するし、住民税の非課税基準や国民健康保険料の減免や就学援助などさまざまな福祉制度の基準にも大きく影響していきます。自民党は生活保護を受けている人が「ぶらぶら」して不正受給を問題にしていますが、国の資料でも不正受給は0.4%、不正は解決が必要ですが、原因は不正受給ではなく、収入の低下です。社会保障を切り下げ、貧困と格差をさらに広げてきた政治こそ改める必要があると考えます。みなさんのご意見を寄せ下さい。

で、生活保護基準を引き下げを正当化しようとしているのです。おかしいと思いませんか。生活保護基準の引き下げは利用者だけの問題ではありません。最低賃金にも影響するし、住民税の非課税基準や国民健康保険料の減免や就学援助などさまざまな福祉制度の基準にも大きく影響していきます。自民党は生活保護を受けている人が「ぶらぶら」して不正受給を問題にしていますが、国の資料でも不正受給は0.4%、不正は解決が必要ですが、原因は不正受給ではなく、収入の低下です。社会保障を切り下げ、貧困と格差をさらに広げてきた政治こそ改める必要があると考えます。みなさんのご意見を寄せ下さい。

区長が初めて「来年度中に議会に条例案を出したい」と表明

1月10日、東京土建足立支部の「新春旗びらき」が行われ、足立区長、足立区選出の全都議会議員、区議会議員も各党派代表2名すべての党が参加しました。

区長は、この土建組合の挨拶で初めて、公契約条例について、期限を明示しました。



「この間、様々な団体などの意見を聞いてきた。平成25年度は、さらに意見を聞きながら、パブリックコメントも行った。何とかな年度内に条例案として議会に提出したい」という

趣旨です。

「この間、区は素案を作りながら議会の求めが出るまで面にも出さず、通常なら素案があればすぐにパブリックコメントを行うのにそれも行わず、実現目前と言われながらも、先が見えない状況でした。それを、期限を明示したのは、大きな前進です。どういう条例になるのか、適用範囲はどうか、せつかく作り

ても有名無実にならないか。チェック機能を果たす議会の役割も大きいと思います。私たちはより良い条例案となるよう、繰り返し提案も行ってきました。公の契約により人間らしく働ける賃金を保障すること、は、工事に際しても良質な工事を保証することになります。地域の経済を良い方向で循環させることになり期待されます。



東京土建足立支部の旗開きに参加・挨拶する
党区議団のめがが和子、
はたの昭彦区議

公契約条例制定へ

カギは地域経済循環



足立区商店街振興組合連合会の新年会に参加

1月15日に商店街振興組合連合会の新年賀詞交換会にはじめて来賓として出席し、各役員さんたちと交歓してきました。区内商店街、小売店は「街の宝」「コミュニティの核」として抜本的な支援策が求められていますが、長引く不況で深刻な状況です。「アベノミクスと言ってお金をばらまいても景気はよくなるのか？」の声。やるべきは国民の所得を増やし、内需を活発にすることです。「カギは地域経済循環」にすることだと痛感しました。自治体で出来ることは沢山あります。一致できることで力を尽くす決意です。伊藤和彦

大島よしえ都議と共に足立区商店街振興組合連合会の新年会に出席。写真は挨拶する大島よしえ都議 1月15日



子どもや地域はそっちのけ



区が新たな統廃合計画を発表

江北・鹿浜・入谷エリアが対象

新たに統廃合をすると発表された学校名

江北小学校	統合検討	H25～31までで統廃合を完了させる計画
高野小学校		
江北中学校	統合検討	
上沼田中学校		
鹿浜小学校	統合検討	
上沼田小学校		
第八中学校	統合検討	
鹿浜中学校		

鹿浜西小と北鹿浜小、舎人第一小と足立入谷小、入谷中と入谷南中の6校については引き続き統廃合を検討

千寿第五小の統廃合では、町会ぐるみ、保護者ぐるみの反対の声も無視し、区教委が自ら決めたルールまで破って統廃合をゴリ押ししてきました。その千寿第五小・五反野小の統廃合新校の建設も始まらないうちに、新たに「江北・鹿浜・入谷エリアの8校を統廃合する計画」を発表しました。23日に開かれた文教委員会の報告資料が議員全員に配られ明らかになったものです。



足立区子どもの数も増加

【新田地域】
新田小と新田中2校を1校に統合し、小中一貫校を建設。その結果、人口の急増に耐えられず、「教室が不足」と、新たに50億円もかけて、「第二校舎」の用地購入と建設。この金額は学校を2校建設する経費とほぼ

先見性のない目先だけの統廃合ゴリ押し

新たな統廃合方針について
文教委員会の審議で強行の構え

同額です。
【千住地域】
区内で最初に統廃合を行い、千住地域の学校は次々と廃校になりました。現在千住橋戸町(旧リーガル・ニッピ工場跡)の開発により、千寿小学校の教室不足が予測され、まだまだ耐用年数がある校舎を前倒して取り壊し、改築していく計画を発表。

地方では子どもの数が減った学校(2学年で1クラス以下など)については取りあえず「休校」扱いとしても、廃校にはしない所が多くあります。
これは、「学校」の存在が地域のコミュニティの核でもあり、安易につぶさないという考えに基づくものです。
子どもの数も増え人口も増え続けている足立区で、目先の経費削減に走り統廃合に走ることが、逆に税金のムダ遣いになる事態になり、統廃合のゴリ押しはやめるべきです。
みなさんのご意見を寄せ下さい。

統廃合ではない 単独改築計画も明らかに

学校名	一番古い校舎の築年	設計・改築期間	備考
伊興小学校	昭和39年	H24～29年	都市計画道路にぶつかるため繰り上げて改築。遺跡調査が必要なため工期が長い
関原小学校	昭和39年	H25～28年	耐震補強が不十分なため前倒して改築
東淵江小学校	昭和38年	H26～29年	
花畑小学校	昭和38年	H26～29年	
千寿小学校	昭和44年	H26～29年	子どもが増え教室数の不足が予想されるため前倒し
綾瀬小学校	昭和38年	H27～30年	
東綾瀬中学校	昭和38年	H27～30年	
興本扇学園	小中一貫校	H28～31年	昭和37年築の興本小、57年築の扇中を1校の統合小中一貫校に
宮城小学校	昭和39年	H28～31年	

2013年 1月26日(土)
新宿武蔵野館 全国順次公開!

沖縄の米軍機墜落事件をテーマに描く本土復帰40年記念作品
1月26日(土)～2月8日(金)新宿武蔵野館で上映
時間はいずれも10時、1時の2回です。
初日には主演の長塚恭三はじめキャストが舞台挨拶します。
1000円の特別鑑賞券があります。
お問い合わせは区役所控室(3880)5770伊藤まで